

北九州e-PORT構想2.0

～ 産学官民金による新サービス創出等の取り組み ～

平成30年2月14日

公益財団法人 九州ヒューマンメディア創造センター
事務局長 山田 修司

(公財) 九州ヒューマンメディア創造センター

- ・ 北九州市の外郭団体（産業経済局所管）
- ・ 平成8年情報通信技術（ICT）を活用し、既存産業の高度化や新産業の創出を図り、地域経済社会の発展に貢献することを目的に、北九州市および地元企業12社で設立

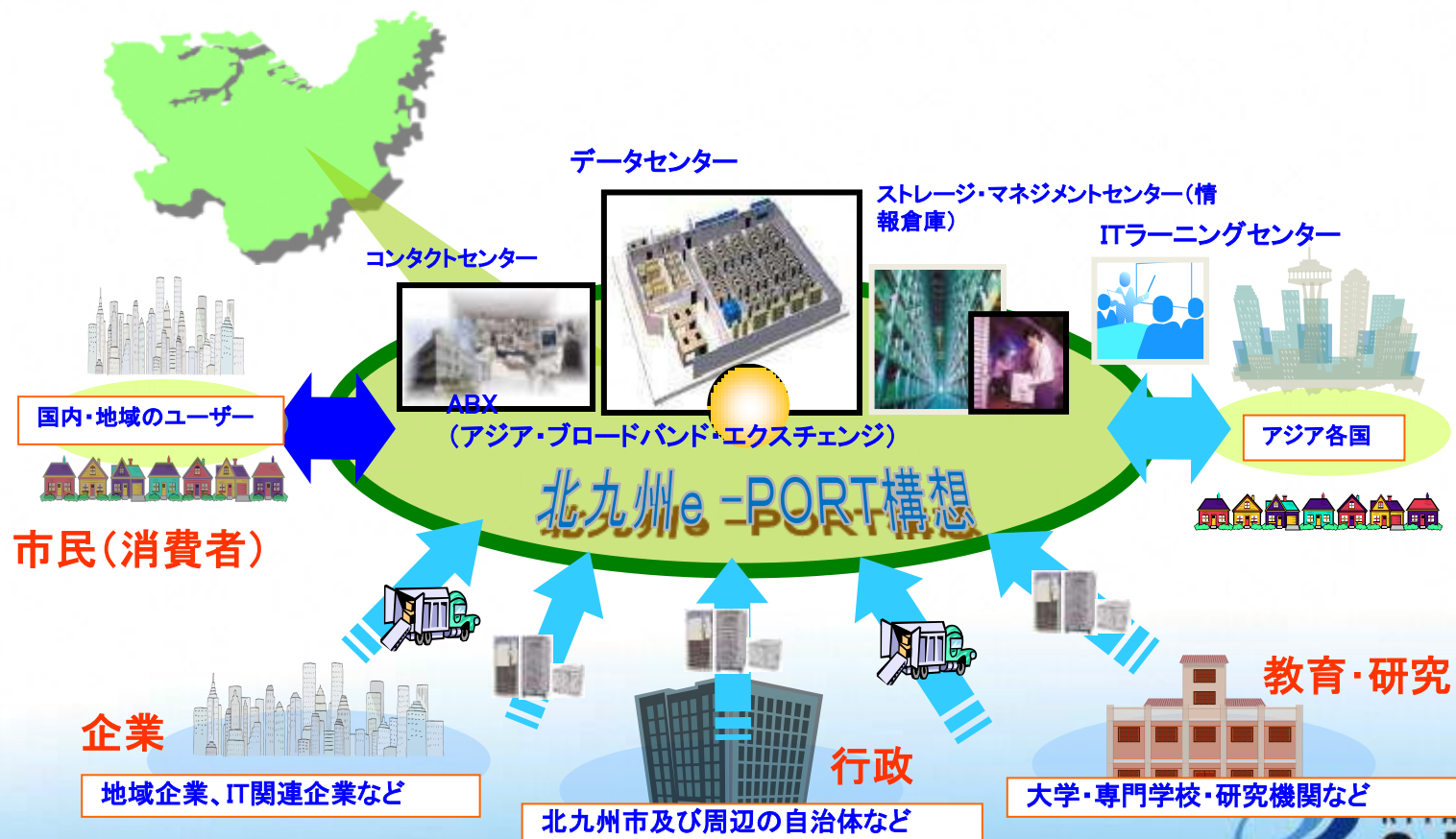


財団ビル全景

- ・ 賛助会員29団体
- ・ 北九州市八幡東区東田1丁目5-7
- ・ 事業規模2.6億円
（公益目的事業、収益事業等）
- ・ 公式ホームページ
<http://www.human-media.or.jp>

これまでの「北九州e-PORT構想」

- 「北九州e-PORT構想」は、2002年北九州市及び地元企業が「ICTサービスを電気や水のように、いつでも簡単・便利に使える社会づくり」を目指した構想
- 海の港 (sea port)、空の港 (air port) に続く第3の港「情報の港 (e-PORT)」



成果：企業（データセンター）売上

2016年5月の新日鐵住金ソリューションズによるITアウトソーシング拠点「NSFITOSセンター」開設、2017年1月のアジアン・フロンティア6号棟が稼働などe-PORT関連拠点の集積が進み、売上が増加している

e-PORT関連拠点集積状況



北九州e-PORTセンター
(2007年7月)

e-PORT第二センター
(2007年7月)

e-PORT小倉センター
(2007年10月)

情報倉庫
新九州センター1号棟
(2015年10月)

アジアン・フロンティア
1号棟(2008年10月)
2号棟(2009年4月)
3号棟(2011年10月)
4号棟(2012年4月)
5号棟(2013年5月)
6号棟(2017年1月)

- ◆DC 3社4箇所9棟
- ◆情報倉庫 1社
- ◆コールセンター 17社

- ・ データセンター 4 箇所
- ・ 情報倉庫 1 箇所
- ・ 年間売上 8, 836 百万円

[e-PORT関連企業の年間売上額調査結果(平成27年度末)]



※注 売上げ額は、非開示のため北九州市の推計によります。

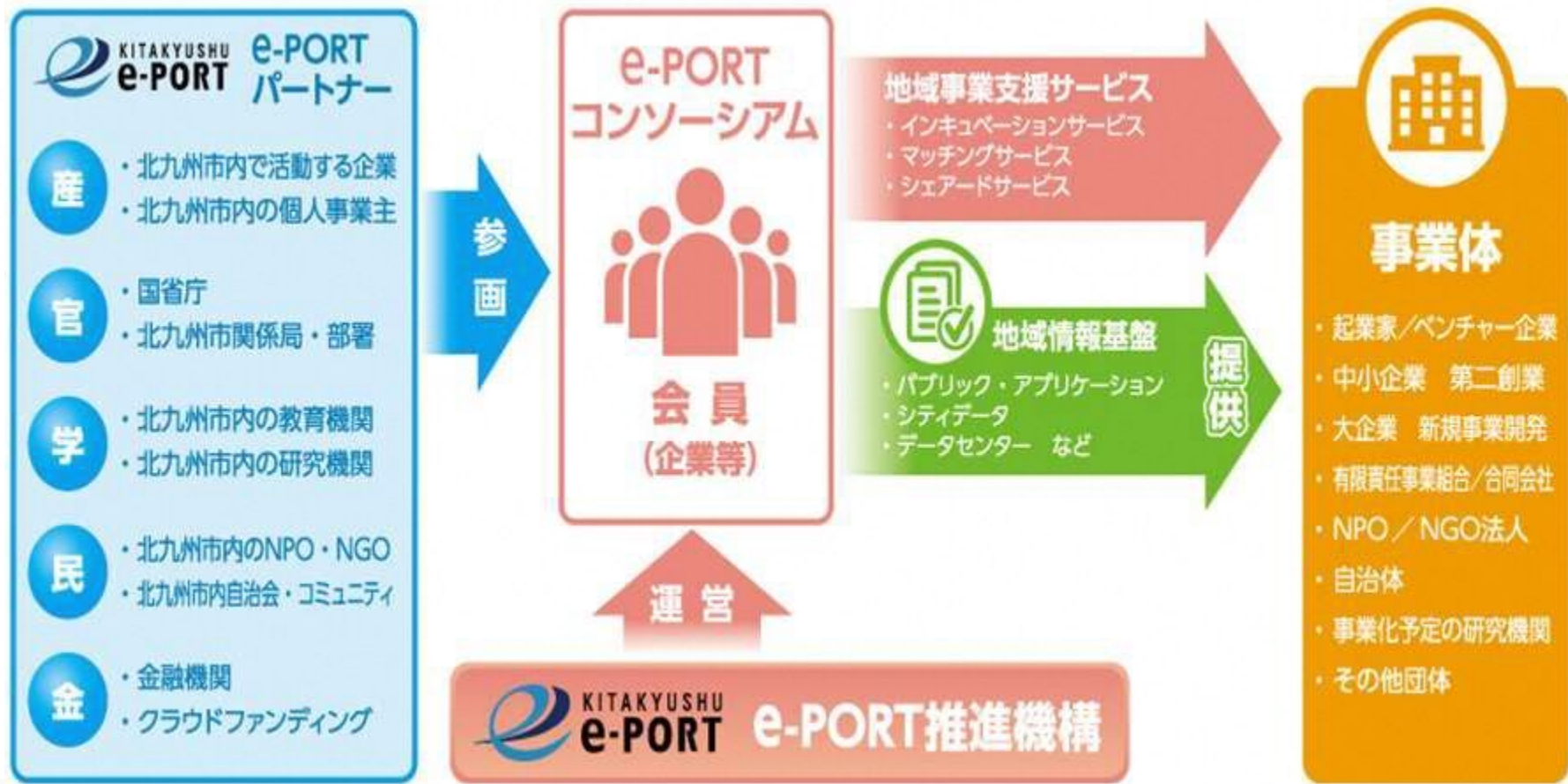


NSFITOSセンター開設、アジアン・フロンティア6号棟稼働により売上増見込

アジアン・フロンティア7号棟
2018年目途に増設予定

「北九州e-PORT構想2.0」の全体像

ICTを活用し、地域課題をビジネス創出の視点で解決していくための仕組み



全国に先駆けて、地域課題からビジネスを創出することに取り組んできました

産業都市としての今後

北九州市新成長戦略：産業面の取り組みを推進する基本戦略

取り巻く社会経済環境の変化、ポテンシャル（優位性）を十分に発揮しながら、国際的な競争時代においてもアジアの中核的な産業都市として、持続的な発展・成長を目指すため、平成28年3月に改訂実施

5つの方向性とリーディングプロジェクト

I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

・ベンチャー企業等の創業促進

・インダストリー4.0などIoTに関する対応の強化

⇒北九州e-PORT構想2.0の推進による情報産業の振興



II 高付加価値ものづくりクラスターの形成

III 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

・にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充

・情報サービス産業の高付加価値化の推進（情報サービス産業の創出・育成）

IV グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成

V 地域エネルギー拠点の形成